



令和6年度歳入歳出決算を認定

— 一般会計および各特別会計、

事業会計の計10議案を審査 —

◇主な議案の内容……………②③

◇審議結果……………③

◇常任委員会の審査……………④⑤

◇市政に対する一般質問……………⑥⑦

◇特別委員会の活動……………⑧

◇市議会からのお知らせ……………⑧

9月定例会の概要

令和7年9月定例会は、9月1日から25日までの25日間にわたり開催しました。

本定例会では、市長提出議案29件のうち、第101号「令和6年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について」、第102号「令和6年度越谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について」、第104号「令和6年度越谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について」は賛成多数により認定しました。なお、そのほかの議案については、それぞれ全員一致により可決または認定しました。(各議案の結果は3ページに掲載しています。)

※定例会の日程は市議会ホームページをご覧ください。

議会体験講座

「こしがや市議会を学ぼう!」を開催しました

越谷市議会では、主権者教育の一環として、地方議会の仕組みや越谷市議会について学ぶ機会を提供するとともに、議会をより身近に感じていただくため、令和7年8月2日(土)に、市内在住の小学生および保護者を対象とした議会体験講座「こしがや市議会を学ぼう!」を開催しました。

当日は、議会に関する講座や議場等の見学・体験、議会クイズなどを実施しました。



市議会だよりの表紙写真を募集しています。
(詳しくは8ページをご覧ください)

表紙の写真「紅葉と太鼓橋」
撮影者 三澤 誠 様(南越谷在住)
撮影場所 花田苑(令和6年(2024年)11月)

こしがや市議会だよりの愛称「harmony」は、ワンチームを連想させ、調和を奏でるとの思いが込められています。

UD FONT
by MORISAWA



スマホ用アプリ「マチイロ」で市議会だよりをご覧ください。

マチイロ

市議会の様子は、市議会ホームページからご覧いただけます。

越谷市議会

検索

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/gikai/>



弁した。

これでは自治体の本来の役割である、住民の福祉の増進を図ることができない。加入者の多くは高齢者や低所得者、零細事業主であり、能力を超えた負担を迫る値上げを行った決算議案には賛成できないため、反対する。

(介護保険特別会計歳入歳出決算認定について)

▶ 反対討論

▶ 介護保険制度は給付サービス費が増え続ける中、国の負担割合は増やさず、市民の負担が増え続けることが問題である。国庫負担割合の増加がなければ保険料はさらに払えない金額となる。滞納増加の懸念が強まり、サービスを利用できない状況が進みかねない。国は介護従事者の処遇を改善してきたと言うものの、低賃金労働環境による人手不足は深刻である。市は、国庫負担の見直しや処遇改善を要望しているが、その声は国に届いていない。併せて、保険料の引き上げ抑制のための市の努力が不足していることから反対する。

- ・財産の取得について（越谷市立川柳小学校高学年棟児童用机・椅子）
- ・財産の取得について（越谷市立川柳小学校高学年棟教材教具）

本議案は、令和８年４月１日から供用開始を予定している越谷市立川柳小学校高学年棟において使用する児童用机・椅子および教材教具を取得するにあたり、予定価格が議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分

に関する条例に規定する額以上となるめ、提案されました。

※2議案に対する質疑がありました。

► 議案質疑

問 追加議案となった経緯は。

答 （仮称）川柳学園建設工事における施工不良が判明し、いったん入札を止める状況となった。対策委員会で協議した結果、是正工事の工期が延びないことを確認したため再度議案を提出し、追加議案となった。

問 是正工事が行われるが、本契約を締結することで工期にとらわれるのではと考える。工期についての考え方は。

答 工期にとらわれず安全性第一という中で、施工業者からは工期に間に合うとのことだった。そのため、工期にとらわれることなく進んでいくと考えている。

問 本定例会において追加議案とした理由は。

答 検討した結果、１２月議会での提案では納品が間に合わないことが判明し、９月議会に提案した。

問 納品について、業者が間に合わないと言ったのか。間に合わせる方法を検討せずに9月議会で提案したのか。

答 指名委員会にかけるときに、参考見積もりをとった業者から、間に合わないことを確認した。

問 落札業者以外にも、納品が間に合う業者がいなかったのか。

答 すべての指名業者に確認したわけではな

いが、複数業者に確認を行った。

問 議案が可決され工期が間に合わなかった場合の対応は。

答 施工業者に納品場所を準備してもらい、納品することを考えている。

問 入札業者に名前の近い２者が出ており、入札金額が異なる。同じ系列と思われる会社で入札金額が異なることについて、疑問は発生しなかったのか。

答 2者について、資本関係がないことを確認している。人的関係がある場合は指名できず、代表取締役を含む役員が同一人物でないことが条件となっている。この点について関連がないため別の会社の扱いとなっている。

問 親戚、兄弟、親子の場合、市の入札ルール上は問題なく、別会社と判断しているのか。

答 代表取締役を含む役員が同一人物でないことが要件となっており、審査基準には該当しない。



川柳小学校高学年棟で使用する児童用机・椅子

令和7年9月定例会

審議結果

◆議案の概要は市議会ホームページから確認できます。

すべての議員が賛成した議案（議長・欠席議員を除く）

議案番号	付託委員会	議案名	議案番号	付託委員会	議案名
市長提出第84号	省略	専決処分事項の承認を求めることについて（令和7年度越谷市一般会計補正予算（第2号））	市長提出第97号	予算決算	令和7年度越谷都市計画事業東越谷土地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）について
市長提出第85号	総務	議決事項の一部変更について（仮称共同消防指令センター建設工事（建築）請負契約の締結）	市長提出第98号	予算決算	令和7年度越谷都市計画事業西大袋土地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）について
市長提出第86号	民生	越谷市地区センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第99号	予算決算	令和7年度越谷市病院事業会計補正予算（第1号）について
市長提出第87号	民生	越谷市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第100号	予算決算	令和7年度越谷市公共下水道事業会計補正予算（第1号）について
市長提出第88号	民生	越谷市被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第103号	予算決算	令和6年度越谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第89号	環境経済・建設	市道路線の廃止について	市長提出第105号	予算決算	令和6年度越谷市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第90号	環境経済・建設	市道路線の認定について	市長提出第106号	予算決算	令和6年度越谷都市計画事業東越谷土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第91号	子ども・教育	越谷市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第107号	予算決算	令和6年度越谷都市計画事業西大袋土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第92号	予算決算	令和7年度越谷市一般会計補正予算（第3号）について	市長提出第108号	予算決算	令和6年度越谷市公共用地先行取得事業費特別会計歳入歳出決算認定について
市長提出第93号	予算決算	令和7年度越谷市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	市長提出第109号	予算決算	令和6年度越谷市病院事業会計決算認定について
市長提出第94号	予算決算	令和7年度越谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	市長提出第110号	予算決算	令和6年度越谷市公共下水道事業会計利益処分及び決算認定について
市長提出第95号	予算決算	令和7年度越谷市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	市長提出第111号	子ども・教育	財産の取得について（越谷市立川柳小学校高学年棟児童用机・椅子）
市長提出第96号	予算決算	令和7年度越谷市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計補正予算（第1号）について	市長提出第112号	子ども・教育	財産の取得について（越谷市立川柳小学校高学年棟教材教具）

賛否が分かれた議案

			会派名 議員名	NEXT越谷					公明党越谷市議団					自由民主党				無所属の会			立憲民主党		日本共産党		市民ネット		維 賛 成	反 対	本 会 議 決 結 果						
				浅古高志	金井直樹	松島孝夫	武藤智	野口高明	立澤貴明	横井聖美	竹内栄治	瀬賀恭子	畑谷茂	久保田茂	藤部徳治	和泉田宏幸	野口佳司	伊藤治	島田玲子	小林豊代子	清田巳喜男	白川秀嗣	菊地貴光	大野恭子	斎藤豪人	後藤孝江				小口高寛	土屋来夢	工藤秀次	山田大助	大和田哲	清水泉
議案番号	付託委員会	議案名																																	
市長提出第101号	予算決算	令和6年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について	×	×	×	×	×	×	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	22	7	認定可決
市長提出第102号	予算決算	令和6年度越谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	×	×	×	○	○	○	○	26	3	認定可決
市長提出第104号	予算決算	令和6年度越谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	×	×	×	○	○	○	○	26	3	認定可決

凡例 ○…賛成 ×…反対 議…議長（議長は採決に加わりません） 欠…欠席

会派名の自由民主党は「自由民主党越谷市議団」、無所属の会は「こしがや無所属の会」、立憲民主党は「立憲民主党越谷市議団」、日本共産党は「日本共産党越谷市議団」、市民ネットは「越谷市民ネットワーク」、維は「日本維新の会」の略

《越谷市議会議員 条例定数＝32人 現員数＝32人》

常任委員会 (部門別)の審査

9月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案9件が部門別の常任委員会に付託され審査を行いました。
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧ください。



総務



総務常任委員会に付託された議案で質疑はありませんでした。



民生



越谷市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 重度心身障害者医療費支給制度について、条例改正に伴う市への影響と効果は。

答 重度心身障害者医療費の支給対象者の拡大に伴い、令和7年度末の試算で、受給者数は約2千人増加、市の財政負担は、令和8年1月から3月までの3カ月分で約570万円、年間換算で約2300万円の増加を見込んでいる。本助成により精神科への通院を促すとともに、継続的な通院によって、体調の安定化が図られ、再発や重症化防止の効果があるものと考えている。



越谷市被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 被保護者等住居・生活サービス提供事業について、条例改正の背景は。また、事業所の開設にあたって、地域との合意形成は。

答 現在、市内に「入居定員が2人以上4人以下の施設」はないが、入居定員をあえて社会福祉法の規制の対象外となる5人未満とし、不当な事業活動が行われることを未然に防止するため、今回の条例改正において、届け出をしなかった場合や虚偽の届け出をした場合に、30万円以下の罰金を科す規定を追加している。また、事業所の開設を希望する際には、生活福祉課まで相談していただくとともに、地域の理解を得るようお願いし、自治会等からの意見も伝えながら、開設に向けた調整を行っていききたい。



環境経済・建設



環境経済・建設常任委員会に付託された議案で質疑はありませんでした。



子ども・教育



越谷市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

問 公民館と地区センターについて、組織の一元化と条例の一元化に関する考えは。

答 設置当時から一元化により教育委員会との結びつきが弱くなるという懸念があった。引き続き地区における生涯学習の拠点施設としての役割を果たせるよう、市長部局と協議しながら検討していききたい。

・財産の取得について(越谷市立川柳小学校高学年棟児童用机・椅子)

・財産の取得について(越谷市立川柳小学校高学年棟教材教具)

※2議案一括質疑

問 机・椅子の取得にあたり、児童や学校から入れ替えの要求があった場合の対応は。

答 定期的に必要分を購入している中で、本来であれば全体の入れ替えが望ましいが、予算の調整も必要となることから、少しずつでも進めていきたい。

問 今後、児童生徒数が減少していく中で、備品の買い替えに対する考え方は。

答 備品は壊れるまで使用することは大原則であり、使用に耐えない場合などに購入している。また、他の学校のストックで対応する場合もあり、むだにしないようにしている。

予算決算 常任委員会 の審査

9月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案19件が予算決算常任委員会に付託され、各分科会に送付し審査を行いました。

※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧ください。



総務分科会

令和7年度越谷市一般会計補正予算(第3号)について

問 繰越金の整理の考え方は。また、他の歳入を含めた全体の予算配分の考え方は。

答 繰越金は、地方財政法上2分の1を下らない額を翌々年度までに積み立て、または、地方債の繰り上げ償還の財源に充てなければならぬため、約84億円の繰越金のうち43億円を財政調整基金に積み立てたほか、他の歳入を含め財政調整基金にさらに13億円を追加し、公共施設等整備基金に6億9000万円を積み立てた。また、9月補正予算では、不足が見込まれる民生費をはじめ、土木費の関連経費や設備の改修工事費等、事業の

緊急性、必要性等を勘案し、配分した。

問 越谷サンシティのあり方に関する方針策定支援業務委託料の内容は。また、今後の会議の見通しおよびスケジュールは。さらに、答申を受けた後、方針案作成の考え方は。

答 主な委託内容は、会議実施に係る企画、資料作成、審議事項に関する調査等である。今後は、メイン機能の規模や整備手法等について審議を進め、素案をまとめた後、パブリックコメントを実施の上、市長に答申いただき、その後、市としての方針案をまとめ、来年6月定例会において議案を提出したいと考えている。また、両論併記するような答申を受けた場合、市としていずれかに絞った案を議会に提案し、承認いただけるよう努めたい。



越谷サンシティ

令和6年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 本市の財政力指数が減少傾向にある要因は。また、本市の財政状況の分析は。

答 基準財政収入額が近年増加傾向にある一方、基準財政需要額は少子高齢化等により、収入額を上回る増加が減少の要因であり、今後、留保財源は減少し、厳しい財政状況が続くと認識している。歳入面では、自主財源、依存財源を問わず、これまで以上に財源を確保する姿勢が求められ、歳出面では、事務事業を今一度見直し、効率的で効果的な行財政運営を行う必要があると考えている。

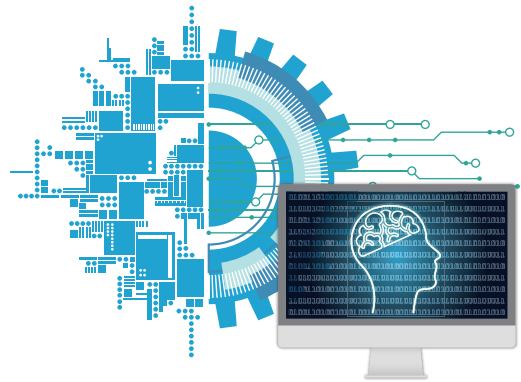
問 ブランドメッセージPR啓発品制作業務委託を特命随意契約とした理由、および、その前段のワークショップにおけるアドバイザー選定の経緯は。また、6月定例会や9月定例会の一般質問における市長答弁の正確性や信ぴょう性の捉え方は。さらに、プロポーザルでなく、疑いが持たれるような特命随意契約を結ぶことに対する反省と今後の考えは。

答 特命随意契約とした理由は、本業務の推進には、ブランドメッセージのコンセプトをよく理解し、最新のプロモーションに関するトレンドを把握したうえで企画制作を実施していく必要があることから、価格面に主眼をおいた競争入札より業務委託の成果を高くすることができる随意契約とし、その検討段階から関わっている方が代表を務める会社に制作を委託することが最も望ましいと考えた。また、アドバイザーの選定経緯は、アクションプラン策定の検討にあたり、本市にゆかりのある著名人等から意見を聴取することを検討している際に、令和4年9月頃、別件での市長との会話の中で同氏の名前が挙がり、その後、担当課が連絡を取り、実績等話を聞いた。一般質問における市長の答弁について、6月や9月定例会では、結果的に認識に違いがあったと思われるが、答弁したときはそのような認識であったと考えている。きっかけとして、市長との会話の中で同氏の名前が出たことは確かであるが、契約当時は、事業内容を見て、適任者であると判断しており、契約に市長が関与したということは一切ない。今回、透明性の確保についての認識を改めた

ところであり、特命随意契約については、より慎重な事務執行に努めていきたい。

問 AI・RPAの活用による業務効率化の目的および効果は。また、職員の体制や人材育成の方針は。

答 RPAは、業務時間の削減や処理量の増加を目的に、令和2年度から導入し、前年度の試験運用で想定通りの効果が見込めるものは、翌年度に本運用している。令和6年度の実績は、14課50業務で利用し、約9000時間の削減に寄与した。また、しっかりと保守ができる職員体制を整えるとともに、管理職への研修やオンライン研修等、毎年人材育成の研修を実施している。今後も職員全体の知識の底上げに努めていく。



問 厳正厳格な公金管理のため、内部統制の具体的な方策は。また、職員へ制度の啓発は。

答 内部統制では、財務に関する事務を対象に、優先的に対応すべき9つのリスクを設定し、適正な事務の執行を確保する取り組みを進めている。令和6年度に発生した現金亡失事案を受け、令和7年2月に、公金等取扱事務要領を策定し、研修会を実施した。令和8年度からの本格運用に向け、各職員が制度の趣旨を理解し、統制活動に取り組むため、さらなる周知啓発、質の向上に努めたい。

民生 分科会

令和7年度越谷市一般会計補正予算(第3号)について

問 看護師等就業支援助成金について、期待する効果、9月定例会に補正予算として計上した理由、定員を超えた場合の対応は。

答 就業支援助成金、市内転入支援金、奨学金返還支援金の給付を同時に実施する点や、看護師免許取得済みの方も対象となる点で、他市の類似制度と比較して有利な制度であると考えている。また、事前に要望者に内定を通知した後、交付申請を行っていただく予定であるが、採用者が最終的に就職を決定する前に募集を開始するため、9月定例会で提案した。募集人員は年度あたり30名を想定しているが、定員を超えた場合には、抽選や補正予算での対応等を検討していきたい。

令和6年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 振り込め詐欺対策における通話録音機器の貸与台数は。また、今後の展望と特殊詐欺被害を防止するための取り組みは。

答 令和6年度は通話録音機器を100台用意し、2カ月弱で用意数をすべて貸与した。貸与台数は平成27年度から令和6年度までの累計で882台。通話録音機器を貸与した方へのアンケート調査においても好評をいただいているほか、令和7年8月末現在、越谷警察署管内で発生した特殊詐欺被害の65%が固定電話であり、振り込め詐欺対策として有効であると考えている。今後も他の啓発や防災行政用無線による注意喚起などの取り組みと併せて実施していきたい。

問 福祉SOSゲーム研修の開催状況と課題、今後の開催方法は。また、介護に関わる働く世代への情報提供は。

答 令和3年度の事業開始以降、毎年10件程度開催。本研修では住民みずからのケーススタディが重要であるため、今後は例えば自治会の班など、より小さな単位で開催していきたいが、PR方法等に課題があるため、参加者の意見も伺いながら検討を進める。働く世代に対しては、出張講座を実施しているほか、企業の研修として開催した実績もあり、今後も機会を捉えてPRに努めていきたい。

令和6年度越谷市病院事業会計決算認定について

問 収支均衡に向けた経営改善の取り組みは。また、優秀な医師・看護師確保の考えは。

答 診療単価の面では、HCU病床の運用強化など、提供する医療の質を向上させることで、入院診療単価のアップを図る。入院患者獲得の面では、地域ホットラインの開設等による救急受け入れ体制の強化を図る。看護師の確保については、大学等へのPRや就職説明会への参加、看護学生実習受け入れ等を実施していく。医師についても、順天堂大学病院や獨協医科大学埼玉医療センター等からの派遣をお願いするなど、あらゆる手段を講じて人材確保に努める。

環境経済・建設 分科会

令和7年度越谷市一般会計補正予算(第3号)について

問 かんがい排水整備の考え方は。また、葛西用水路における水草の繁茂による排水機能への影響と対応策は。

答 かんがい排水整備は、農業生産基盤に係る排水路等の整備を行うものである。また、葛西用水路に発生している水草は、生物に悪影響を与えるものではなく、効果的な除去対策は見つかっていないが、下流にあるゲートを下げて水を流すといった対応をしている。

令和6年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 こしがや・おがの交流の森整備事業の成果は。また、環境管理計画に基づく地球温暖化対策の取り組みの考えは。

答 小鹿野町と協定を締結し、森林整備のほか、植樹イベントなどの交流事業を実施している。環境教育の場の確保、カーボンオフセットによる二酸化炭素削減などの効果があると考えており、今後は森林面積の拡充について調整を進める。また、環境管理計画において、市域からの温室効果ガス排出量46%削減目標のところ、現時点で19.8%の削減となっている。市がリーダーシップをとり、地域全体で目標達成に向けて取り組んでいく。

問 資源回収奨励補助金に係る補助単価を引き上げる考えは。

答 回収量1キログラムあたり8円の補助単価は、中核市平均5.5円を上回っており、単価の引き上げではなく、補助金申請時の利便性向上を図ることを優先し、令和7年度から登録団体の要件緩和等を実施している。

問 自転車通行環境整備事業について、来年4月からの規制強化を控える中での今後の整備方針は。

答 既存の道路60路線、約45キロメートルを対象に、道路幅員や歩道幅員などを調査し、3種類の整備形態の選定に向けた基礎調査を実施した。自転車の安全な通行空間を確保し、歩道上での事故防止と自転車の役割拡大を進めていきたい。

問 公園施設の不具合通報に関し、公園のトイレに貼り紙を設置するなど、利用周知の取り組みは。

答 公園施設の不具合に係る要望は、電子申請やメールでも受け付けている。貼り紙について検討するほか広報紙、SNSを利用し、定期的にお知らせするなど電子申請の利用につながるよう周知方法を検討していきたい。



子ども・教育 分科会

令和6年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 こども医療費の支給対象年齢拡大に伴う財政への影響は。また、低所得者の方等の受診状況は。さらに、償還払いの申請時の負担軽減の考えは。

答 支給対象年齢の拡大部分の支給額は約1億5900万円、件数は約6万3000件であった。また、所得による受診状況の詳細な分析は行っていないが、件数および支給額が増えていることから、低所得者の方を含め適正に支援できていると認識している。さらに、償還払いの申請について、まとめたの申請案内や、複数申請の際は複写するなどして、負担軽減を図っている。

問 スクールロイヤーによる法務相談事業について、相談をした学校や教育委員会の評価は。また、保護者側のメリットは。

答 スクールロイヤーに相談することで学校も自信を持って対応できる。また、保護者側にとっても、法的な後ろ盾がある学校の判断は非常によいのではないかと捉えている。

問 越谷コミュニティセンターの施設改修工事について、今後の予定と方法は。

答 小規模のものは管理運営委託料で、大規模のものは次年度の予算策定前に優先度の高いものについて指定管理者から報告を受け、予算の範囲内で対応している。現在の指定管理期間は令和8年度までとなっており、令和9年度以降については現時点では未定であるが、老朽化もあり再度の延長について慎重な検討が必要と考えている。

全体会において、以下のとおり質疑・討論がありました。

令和7年度越谷市一般会計補正予算(第3号)について…委員長報告に対する質疑1件

令和6年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について…反対討論1件

令和6年度越谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について…反対討論1件

令和6年度越谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について…反対討論1件

各議案の概要は右記QRコードからご覧いただけます。



市政に対する 一般質問

9月定例会では21人の議員が市政全般について質問を行いました。
※一般質問は、議案に関係なく、市の行政事務について市長および執行機関に質問することで、越谷市議会では1人1時間を目途に行われます。



ペットボトルキャップ分別回収の
取り組みについて

公明党越谷市議団 久保田 茂 議員

問 ペットボトルキャップの分別回収を市全体で取り組み、プラスチック資源循環の推進とCO₂排出量の削減を図っては。

市長 市役所などの公共施設に回収ボックスを設置するとともに、市民への効果的な周知方法についても検討を進めていく。

教育長 ペットボトルキャップの回収を含めた環境教育の取り組みについて校長会や環境教育研修会等で周知し、各学校における環境教育を推進していく。



他市で設置されている
ペットボトルキャップ回収ボックス



学童保育室の待機児童解消について

日本共産党越谷市議団 大和田 哲 議員

問 小学校2年生になると、学童保育室の継続を希望していても、母親の就労状況により利用を中断せざるを得ない児童がいる。待機児童の現状、待機児童解消に向けた今後の計画は。

市長 学童保育室は施設整備が追いつかず、昨年度当初の待機児童は395人だった。今年度は208人に減らすことができ今年度中も校舎内の転用可能教室等を活用するなど増設し、定員拡大を図っていく。



所信表明事項の進捗とその評価について

立憲民主党越谷市議団 小口 高寛 議員

問 所信表明事項の進捗と評価は。

市長 市長就任以来、政策の三本柱の実現に向け全力で取り組んできた。長期的目標として掲げた項目を除く全28項目のうち27項目、96.4%の施策について、実施完了、あるいは、現在実施しているところであり、コロナ禍や物価高騰など、社会経済情勢が大きく変化する中でも、本市のまちづくりを着実に推進することができたと考えている。



自治会のデジタル化について

日本維新の会 小林 成好 議員

問 電子回覧板や災害時の安否確認などの情報共有ツールとして自治会のデジタル化についての考えは。

市長 自治会活動のデジタル化を推進していく事は、情報伝達の迅速化、役員の業務負担軽減、新たな地域住民の交流促進などにつながる事が期待できる。本市としてはデジタル化に取り組む自治会に対し支援するとともに他自治体の事例を参考に助成金の創設等、調査・研究していく。



遠方から通う児童に対する暑さ対策について

NEXT越谷 横井 聖美 議員

問 市長と教育長との会議の開催について

市長 10月に行う総合教育会議において、暑さ対策についても教育長、教育委員と協議する。会議の前に、通学の様子を見に行くことについては総合的に検討する。
教育長 学務課および学校教育部内において随時登下校時における子どもたちへの熱中症対策について打ち合わせをしている。事前に通学の様子を見に行くことについては前向きに検討していきたい。



小学校始業前の児童の居場所について

公明党越谷市議団 和泉田 宏幸 議員

問 小学生の保護者に対し「小学校始業前の児童の居場所が必要か否か」のアンケート調査を実施することについて

教育長 開門は各学校長の判断の下に行われている。通常の開門時間の前に校庭や体育館を開放することは可能であるが、児童を学校に受け入れる体制、児童の安全をどのように見守るかなどが課題である。「アンケート調査の実施」については、市長部局と連携し、引き続き調査研究していく。



改正災害対策基本法を踏まえた市の対応について

自由民主党越谷市議団 清田 巳喜男 議員

問 災害対策基本法の改正を踏まえ、今後どのように対応するのか。

市長 改正法で福祉サービスの提供や防災DXの推進が明確に位置づけられたことを受け、避難所での支援に加え、自宅や車中で避難されている方々への支援や、被災者の生活再建に欠かせない災証明書の迅速な発行を含め、切れ目のない被災者支援を実施するための被災者支援システムの活用などを地域防災計画に盛り込んでいく。



学校給食のあり方について

越谷市民ネットワーク 清水 泉 議員

問 今年の7月に老朽化した学校給食センターで事故が起こり、約1万1000食が提供停止となった。今後、自校式や親子式を取り入れる考えは。また、民間委託している自治体もあるが、本市の考えは。

教育長 3つの学校給食センターは築30年を経過し、老朽化が進んでいる。本市の学校給食施設整備基本構想の中で、さまざまな角度から検証・整理を行っていく。民間委託は、現在のところ考えていない。



消防職員の安全管理対策について

NEXT越谷 武藤 智 議員

問 大阪道頓堀のビル火災において2名の消防隊員が殉職されたが、本市における火災現場活動中の安全管理対策は。

消防長 活動現場では、指揮を執る安全管理者が隊員の活動状況、刻々と変化する現場の状況を的確に把握しながら必要な指示や支援を迅速に行い隊員の安全確保に万全を期している。今後も隊員の安全意識向上を目的とした教育訓練の充実、火災現場での情報共有・連携強化に努める。



(仮称)越谷市「道の駅」整備事業について

自由民主党越谷市議団 島田 玲子 議員

問 現状と今後の展開は。

市長 インitialコストに多額の整備費用を要するため、市の財政負担を極力抑制することを前提にマーケットサウンディングを継続して実施し、民間活力による事業手法の検討を進めている。他市の事例なども参考としながら、これまでの検討によって得られた知見を土台とし、候補地の地域特性などを最大限生かすことができる手法を引き続き調査・検討していく。



いじめ・不登校対策について

こしがや無所属の会 斎藤 豪人 議員

問 授業に追いつけず、置き去りになりがちな児童生徒が存在する中で、教師一人が学級全体を見渡すことは容易ではない。支援員の配置および拡充に向けた考えは。

教育長 特別支援教育支援員やスクールサポートスタッフなどの配置を進めており、今後も子どもの実態や学校の状況を把握しながら対応していきたい。

要望 授業中の子どもに寄り添うことができる支援員の配置増を要望する。

各議員の氏名の左にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。



安心の子育て支援のためのさらなる環境づくりの充実について

公明党越谷市議団 瀬賀 恭子 議員

問 市内公共施設や商業施設等の授乳室、赤ちゃんの駅に搾乳を必要としている方が気兼ねなく一人でも授乳室を安心して利用できるよう、一目見て分かりやすい表示が必要と考える。「搾乳できます」マークを設置すべきでは。

市長 市役所をはじめとした市の公共施設に設置している授乳室については、搾乳マークを表示していく。市内の商業施設等にも搾乳マーク表示の協力を呼びかける。



子どもたちを性被害の加害者にも被害者にもさせない教育について

越谷市民ネットワーク 大田 ちひろ 議員

問 SNSによる子どもの性被害が増加している。生命(いのち)の安全教育や助産師等による性教育の実施状況と課題は。

教育長 全学年で「生命の安全教育」を実施し、発達段階に応じた学びを進めている。昨年度は市内18校で助産師等の講演を行い、命の大切さや性の知識を伝えている。謝礼は各校が予算内で支出しており、金額は一律ではない。講師の負担を考慮しつつ、学校と連携して取り組んでいく。



公共交通の空白地域および休廃止路線の対応について

日本共産党越谷市議団 山田 大助 議員

問 運賃補助事業の準備が進んでいることは理解したがバス路線がない空白地域や休廃止路線への対応の考えは。また、運転手確保に支援をしている先進自治体があるが市の取り組みは。

市長 空白地域や休廃止路線への対策を行いたいとの思いはある。運賃補助の利用実績を検証し、今後の空白、不便地域を含めた改善や必要性を検討したい。運転手確保は国や他自治体の動向を見ていきたい。



大袋駅100周年、大袋地区センター開設に向けた記念行事開催について

NEXT越谷 野口 高明 議員

問 大袋地区の方から、大袋駅開業100周年、大袋地区センターの開設を契機として、地域住民が主体となったイベントを開催し、住民同士のつながりを深め地域の愛着を育みたいとの声がある。市にも関わりを持っていただきたいが、本市の考えは。

部長 地元の方からの記念行事開催の要望があった際には、地域のにぎわい創出に向けて、市の持つノウハウを活用できないかなどについて丁寧に対応したい。



交流館を廃止しないことについて

日本共産党越谷市議団 工藤 秀次 議員

問 蒲生、南部、南越谷、桜井の各交流館と千間台記念会館を廃止しないことについての考えは。

市長 千間台記念会館については、施設のあり方を検討する方向性に修正し、8月の意見交換会で説明した。他の交流館については市民ニーズ、機能、稼働状況、ランニングコスト、修繕経費などを総合的に勘案して廃止を含めて検討していきたい。



蒲生交流館
(団体名:がもうスマイル体操教室)



ホンネdeこしがや～市長と話そう越谷の未来！～について

NEXT越谷 浅古 高志 議員

問 われわれ市議会議員の意見も尊重したいとの市長から意見があったが。

市長 尊重はするが、全部の声を聞くというわけにはいかない。

問 ホンネdeこしがやの対象者を選ぶときに、どのように対象者は選んでいるのか。

市長 施策に関わっている団体に、声がけをしている。



婚活・出会いの支援の現状の取り組みと成果について

こしがや無所属の会 大野 恭子 議員

問 結婚政策は、多様性尊重から正面から取り上げられにくい。本市の婚姻数も令和2年に1500件を割り込み減少が続く。結婚を望む人への支援策は。

市長 結婚がかなえられない理由に、適当な相手に巡り会えないという声があり、自治体による出会いの支援は意義がある。埼玉県東南部都市連絡調整会議で開催する婚活イベント拡充の協議や、県の結婚支援センターへの登録目標者数増の検討を行う。



市立病院のあり方について

NEXT越谷 松島 孝夫 議員

問 市立病院の病床数や建て替え、経営形態など、将来像を決めるべき重要な事項が何年も検討中のままである。市長自身はどのようにあるべきと考えるか。

市長 2年間の経緯を見ながら判断する。

問 国からの26億円の借り入れにより、今後は金利負担の増加が見込まれる。将来的な財政負担の拡大も懸念されるが、市として補助や支援を講じる考えはあるか。

市長 まずは国から借りて判断していく。



「水遊都市KOSHIGAYA」の妥当性(不当性)について

NEXT越谷 立澤 貴明 議員

問 上は本市のブランドメッセージのロゴ。下は約20年前から使用されている鴨川シーワールドさんのロゴ。市が鴨川シーワールドさんの権利を侵害していることが判明した場合、ロゴを作成した事業者との契約はさかのぼって無効になるのか。事業者に何かしらの損害賠償を求めるのか。市長としてどういった責任を取るのか。

市長 仮にそうなった場合は、行政として取るべき手法は取らなければいけない。



ブランドメッセージと鴨川シーワールドのロゴ
(画像(下)提供:鴨川シーワールド)



学校部活動に対する助成金について

NEXT越谷 金井 直樹 議員

問 甲子園に出場した叡明高校に1500万円を助成したが、甲子園以外の全国大会等に出場する市内の学校、個人等から依頼があった場合は助成するのか。また、奨学金制度や条例を制定して助成する考えは。

市長 すべての依頼に対しては助成できないこともある。ただ、野球だけでいいのかという思いを持っている。規模、競技人数などを考え、市民のご理解をいただけるような答えを出していきたい。

第5次総合振興計画 後期基本計画の調査

本市議会では、令和7年3月定例会において、第5次総合振興計画後期基本計画調査特別委員会を設置し、同計画について、調査・研究に取り組んでいます。



※質疑のあった事項について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧ください。

令和7年7月23日から25日までの3日間にわたり開催された第5次総合振興計画後期基本計画調査特別委員会では、後期基本計画の素案について、執行部より説明を聴取の後、質疑を行いました。

問 推進ビジョンの構成を変更した理由は。また、追加された推進ビジョンについて、市民懇談会で集約した意見の反映方法は。

答 分野別計画と内容が重複しないよう、各視点における具体的な取り組みは省略し、推進ビジョンの視点という意味合いを分かりやすくするため、第3章分野別計画の冒頭に配置した。昨年度の市民参加の取り組みにおけるさまざまなご意見を踏まえ、「危機管理」、「デジタル化」については継承し、新たに「地域脱炭素」、「インクルージョン」の視点を導き出した。

問 財政計画において、国の動向などが不透明な現状の捉え方は。また、後期基本計画の5年間における柔軟な財政運営の考えは。

答 財政計画は、策定時点の法令や経済指標などの条件を用いて作成しているが、制度改正などは地方の歳入等へ大きな影響を与える。これから年度末にかけて、さまざまな国の動きが見込まれるが、できる限り反映させ、計画期間中の変化にも柔軟に対応していきたい。また、計画期間中の特殊要因に対しては、国の財源措置や市の財政状況などを考慮し、優先順位をつけて対応していきたい。

問 平和事業の具体的な取り組み状況および今後の展望は。

答 平和都市宣言以降、平和展・平和講演会等は令和6年度までに17回開催した。来場者は平和への関心を持つ高齢層が多く、若年層の参加を促すための取り組みを行って

る。今年度は戦後80年を迎えることもあり、平和展はこれまでの内容を総合的にまとめた展示を行い、平和講演会は著名人の講演のほか、平和の語り部ボランティアや過去に広島平和記念式典に参加した当時中学生の方によるパネルディスカッションを予定している。

問 市立病院のあり方についての検討状況は。また、経営改善に向けた考え方は。

答 令和6年度に関係部課長による内部協議を行い、病院の現状や地域医療圏における役割についての情報共有、建て替えや経営形態に関するパターンの抽出等を行った。こうした中で、有識者を含めた検討会の設置等を模索していたが、コロナ禍以降の経営状況の悪化や令和6年度決算で見込まれる多額の純損失の影響から、建て替えに必要な資金確保のめどが立たない状況である。診療単価や病床稼働率、救急受け入れなどの面で改善の余地があると考えており、まずは3カ年での収支均衡に取り組んでいきたい。

問 (仮称)越谷市Ma a Sの特性、草加市のコミュニティバスの柿木地区からレイクタウンへのバス乗り入れに係る検討状況、東埼玉道路へのBRT導入を誘致する考えは。

答 高齢者を対象とした運賃補助と併せ、複数の移動手段による最適な経路を検索できるウェブアプリケーションサービスの構築を進めている。コミュニティバスの乗り入れについては、草加市と意見交換を重ね、課題を整理しながら検討を進めていく。BRTについては、近隣自治体と連携し、地域の道路交通などの調査を行っている。レイクタウンの渋滞緩和につながる可能性も考慮し、BRT導入に向けた検討を進めていく。

問 急増する救急需要への対策は。また、救急隊の増員についての考えは。

答 増加する救急需要に対しては、救急台数を5年間で1台増やすほか、救急隊のスキルアップ、他の消防職員の救急救命士資格取得などの取り組みを行う。救急車の増車については、1台につき9人の増員が必要になることや、救急車も1台当たり4000万円と高額であり、人件費が恒常的に発生することから、まずは消防力の整備指針で示される救急台数10台を満たし、今後は救急需要を見定めたうえで検討を進めていきたい。

問 ふるさと納税返礼品の登録数に係る目標値設定の考え方と達成に向けた取り組みは。

答 目標値820件は、県内における寄付額3億円以上の自治体の返礼品登録数の平均値を参考に設定している。返礼品数は、令和7年3月末時点で481件であり、目標達成には年間約50件から60件の増加が必要となる。専門業者への委託や商工会議所との連携、職員が直接事業者を訪問するなどの取り組みを継続し、拡充を図っていく。

問 「不登校発生率」の指標を変更した理由および今後の考え方は。また、スペシャルサポートルームや教育支援教室の検討は。

答 全国的に不登校発生率が増加傾向で、学校内外の機関等で専門的な相談指導を受けていない状況から、本市でも学校内外の機関等との連携を進めていくため、不登校児童生徒への支援に係る指標に修正した。現在、小学校へスペシャルサポートルームの順次設置を進めており、教育支援教室「おあしす」については、昨年度科学技術体験センターミラクルに西教室を設置した。成果や課題を踏まえて今後も進めていきたい。

こしがや市議会からの

お

知

ら

せ

議会人事

委員の辞任等に伴い、次の方を選出しました。

議会運営委員会委員

山田 大助

越谷・松伏水道企業団議会議員

小口 高寛

会派代表者の変更

令和7年8月25日付で、日本共産党越谷市議団の代表者が工藤秀次議員に変更になりました。

12月定例会の開催予定

令和7年12月定例会は、12月1日(月)から12月18日(木)までの18日間にわたって開催する予定です。

詳しくは、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(☎963-9261)

表紙写真の募集

令和8年2月1日号のこしがや市議会だよりの表紙写真を募集します。

募集内容

越谷市に関連する行事、風景、人物、その他季節に合うもの

応募規定

1人1回につき2枚まで。おおむね3年以内に撮影したもの。(ただし、景観に変化がなければ制限はありません)

応募資格

越谷市在住、在勤または在学の方

応募期間

令和8年(2026年)1月9日(金)まで

傍聴して一言

本定例会では、71人の傍聴者がありました。いただいた感想から一部要約して紹介します。

■今回初めて傍聴したが、質問者・答弁者ともに、はきはきと述べられていて、とても好感が持てた。

■事前に質問および、それに対する回答ができており、「できあい」感がありすぎる。もっと突発の質問等がなされれば、緊張感もでると思う。

編集後記

議会報“ハーモニー”を手にとっていただきありがとうございます。

今夏も猛暑日の日数記録が更新され、8月16日には本市に局地的短時間豪雨が発生しました。

気候変動を身近に感じます。

市政はみなさんの近くにある政治です。議会報を読んで関心を持っていただけたらうれしいです。ご意見などもぜひお寄せください。

広報・図書室協議会委員
大野 恭子